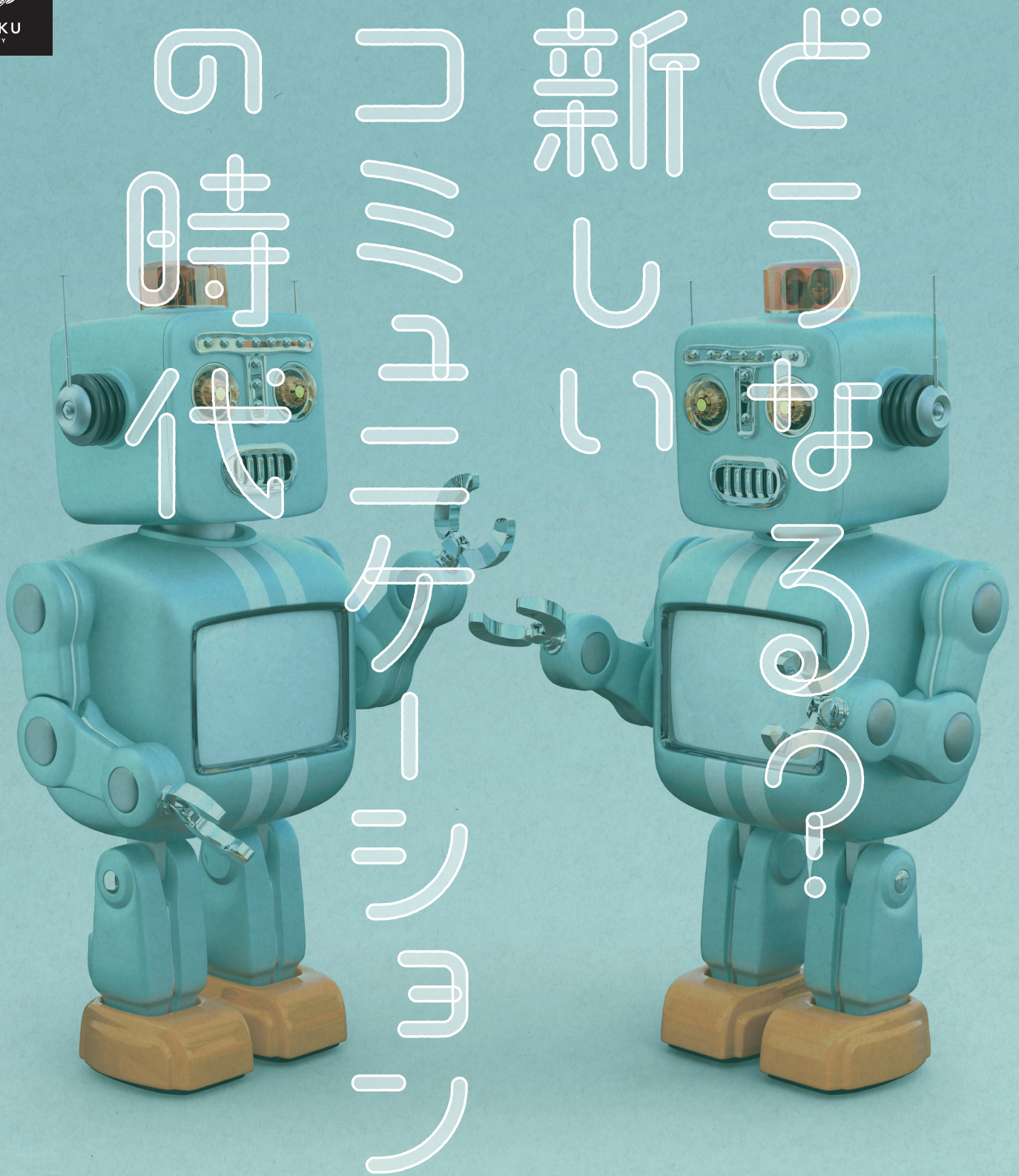




TOHOKU  
UNIVERSITY

GSIS  
Graduate School of Information Sciences  
Tohoku University



東北大学 大学院情報科学研究科シンポジウム

# 「情報科学」から「コミュニケーション」を考える

2019年2月17日 日

定員150名

参加無料

13:00-17:00 | 12:30 受付開始 | 会場: 東北大学 大学院情報科学研究科棟2階 大講義室

高校生から社会人まで、広く一般の方を対象にしたシンポジウムです。

特設ウェブサイト  
参加申込受付中!

[www.is.tohoku.ac.jp/sympo/](http://www.is.tohoku.ac.jp/sympo/)



# どうなる？ 新しいコミュニケーションの時代

東北大学 大学院情報科学研究科シンポジウム

「情報科学」から「コミュニケーション」を考える

人と人、人と機械、さらには機械と機械の間にまでコミュニケーションが広がるいま、  
より良いコミュニケーションを実現するため、情報科学には何ができるのか？ 6つの視点からアプローチしてみましょう。

## 講演 1

### マンガの間から 何が読めるか？

ポップカルチャーを通して見る  
コミュニケーションの変容

窪 俊一 准教授



マンガにはさまざまな間があり、コマとコマの間にある間を埋めながら、僕たちはマンガを読んでいます。人と人との間を、文化と文化の間を、そして持て余した時間を埋めてくれるマンガ。このマンガというメディア(媒介するもの)を通して、現代の情報通信技術の発展に伴うコミュニケーションの変容を探ってみます。

## 講演 2

### ロボットに空気を読んだ 会話はできるか？

人間と機械のメタコミュニケーション

伊藤 彰則 教授  
(工学研究科)



AIスピーカーやスマホアプリなど、人間と会話できる機械が実用化されています。生活に入ってきているこれらの機械は、人間と同じように、私たちにとって話し相手となることができるのでしょうか？ また、そうなるためには何が必要なのでしょうか？ 人と機械のコミュニケーションという点から、こうした問題を考えてみたいと思います。

## 講演 3

### たかが「よ」、されど「ね」…

文末詞にみる日常会話の情報管理

長野 明子 准教授



日本語の文末に現れる「よ」や「ね」のような文末詞は、それ自体では無意味な形態素ですが、「いいよ」と「いいね」が違うことは母語話者には自明です。普段何気なく使っている文末詞について内省していくと、言語には、情報構造とか Common Ground とか いわれる、話し手と聞き手の間の情報共有に関わるレベルがあることが見えてきます。

## 講演 4

### 言語の中に潜むパターンを 記述せよ！

数理の力とその展望

浦本 武雄 プロジェクト  
特任助教



私たちが日常で使う言語はもちろん、プログラミング言語といった人工言語にも文法のような一定の構造があります。形式言語理論と呼ばれる分野では、このような言語の中の構造=パターンを数学的に記述し、分類することが一つの目標です。抽象的な数学を駆使して、言語の構造をいかに解明するのか、その展望についてお話しします。

## 講演 5

### きまづくならない告白って？

カード組を用いた秘密計算

水木 敬明 准教授



友達同士の二人がいて、付き合うかどうかを決めたい場面を考えましょう。秘密計算という暗号技術を使うと、各々の気持ち (YESかNOか) を秘密にしたまま、実際成立か不成立かだけを計算することができ、これなら、たとえ不成立でもきまづくならず済みます。トランプのようなカード組を使って手軽に秘密計算を行う方法を紹介しします。

## 講演 6

### コミュニケーションだって ストレスフリー！

豊かなコミュニケーションのため  
情報通信技術にできること

北形 元 准教授



インターネットをはじめとする情報通信技術の発達は、我々のコミュニケーションの可能性を広げてきました。その一方で懸念されるのが、インターネットに依存しすぎる生活です。今回は、リアルとサイバーが調和した人間性豊かでストレスフリーなコミュニケーションの実現をめざす、さまざまな取り組みを紹介したいと思います。

## パネルディスカッション

### どうなる？ 新しいコミュニケーションの時代



モデレータ  
河村 和徳 准教授

「分かち合う」が語源のコミュニケーション。私たち人類は、ときには非言語情報も駆使しながら、そのための技法を考えてきました。「ヒト」と「キカイ」の対話という新しいかたちも近年話題になりつつあります。私たちの「情報の分かち合い」は今後どうなるのか、それに伴い私たちの生活は豊かになるのか、情報科学の研究成果をもとに考えます。

2019年2月17日(日)

プログラム

12:30	開場
13:00	開会の挨拶
13:10 - 14:00	講演 1・2
14:10 - 15:00	講演 3・4
15:10 - 16:00	講演 5・6
16:10 - 17:00	パネルディスカッション
17:00	閉会

## 参加申込

ウェブサイトのお申し込みフォームに必要事項(氏名、所属、連絡先)を明記の上、お申し込みください。  
会場の都合上、事前登録をお願いします。当日の参加も可能ですが、席の準備ができない場合はご了承ください。

特設ウェブサイト  
参加申込受付中!

[www.is.tohoku.ac.jp/sympo/](http://www.is.tohoku.ac.jp/sympo/)



会場：東北大学 大学院情報科学研究科棟 2階 大講義室  
仙台市地下鉄東西線青葉山駅北1出口より徒歩1分(地下鉄仙台駅から9分)



お問い合わせ

東北大学 大学院情報科学研究科 総務係

✉ [is-somu@grp.tohoku.ac.jp](mailto:is-somu@grp.tohoku.ac.jp)

☎ 022-795-5813